

# 2025-26 年度

WEEKLY REPORT ROTARY CLUB OF FUKUSHIMA WEST. D2530

よいことのために  
手をとりあおう

第  
2530  
地区

## 福島西ロータリークラブ会報

会長 宮崎 秀剛  
幹事 佐藤 卓立  
奉仕プロジェクト  
委員会委員長 大平 謹一郎  
会報写真担当 朝倉 久仁男

令和 7 年 9 月 29 日(月) 第 8 回 通算第 1741 回例会

・ 例会日/月曜日 12:30 ・ 例会場/エフサンパレス ☎ (070) 6557-7808

事務所/福島市万世町 2-5 福島銀行本店 9F ☎ (024) 536-1010・FAX (024) 536-1011 Eメール/ f-rotary@guitar.ocn.ne.jp

第 8 回例会 点鐘 12:30

◇開会点鐘 宮崎 秀剛 会長

◇ロータリーソング

「我らの生業」

ソングリーダー

西形 健吉 会員



◇四つのテスト唱和

佐久間 政文 会員



◇お客様並びにビジター紹介

元事務局員

大関 静江 様

◇会長あいさつ

宮崎 秀剛 会長



皆さん、こんにちは。

暑さもようやく和らぎ、秋らしい風を感じる今日のごごろとなりました。皆様におかれましては、お変わりなくお過ごしのことと存じます。

さて、昨日は福島ロータリークラブ主催の「スポ GOMI 大会」が開催され、福島西ロータリークラブもチームで参加いたしました。事務局の小澤さんにご準備・運営にご尽力されたとのこと。誠に疲れさまでした。

「スポ GOMI 大会」とは、定められたエリア内で、チームが協力してゴミを拾い、その種類・量を競うというイベントで、子どもからご高齢の方まで幅広い世代が楽しめるスポーツ型の清掃活動です。

順位はゴミの量に応じて決定され、70 位までが入賞となりますが、福島ロータリークラブ創立 75 周年に因み、75 位も入賞とするルールでした。残念ながら我がクラブは 72 位。“忬度”はなかったようです(笑)。

来年もまた開催されるとのことです。まだ参加されたことのない方も、ぜひ奮ってご参加ください。

さて、本日のプログラムですが、先日第 2530 地区にて実施されました、青少年奉仕委員会セミナー、公共イメージ委員会セミナー、社会国際奉仕・ロータリー財団委員会セミナー、職業奉仕委員会セミナーの各報告を、各委員長より賜ります。

ご多忙のところご参加くださり、誠にありがとうございます。

また、10 月には地区大会の開催、11 月には当クラブの主催によります青少年育成事業「第 28 回少年野球大会」が、県営あづま球場にて開催されます。

「段取り八分」と申しますとおり、準備段階で八割方を整え、あとは実行に移すのみとなります。今後、各種打ち合わせや委員会が開催されるかと存じますので、皆様のご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

それでは、本日もどうぞ最後までよろしくお願いいたします。

◇幹事報告 佐藤 卓立 幹事

○お知らせ

- 昨日 9/28(日)に開催された福島 RC 主催スポ GOMI 大会には、宮崎会長、佐藤幹事、佐藤宗弘会員、高橋智弘会員、米山記念奨学生ティンさんの 5 名にて参加して参りました。参加チーム 116 チーム中 72 位でしたのでご報告いたします。
- ご案内しております通り 10/16(木)少年野球大会事前打ち合わせ会を「ちゃんこ若葉山」にて開催いたします。野球大会当日の出欠を含め、事務局まで早めにお知らせください。

- 10/4(土)県北第一分区会長幹事会が開催されます。宮崎会長、佐藤幹事が出席いたします。

## 委員会報告

◇プログラム・出席・スマイリングボックス小委員会報告

久米 允彦 会員



○宮崎秀剛会長

RI 第 2530 地区各委員会セミナーへの参加、各種行事への参加お疲れ様でした。

○元事務局員 大関静江様

お久しぶりです。大変御無沙汰しております。版画展を鑑賞しに来訪の際、例会の案内板を見掛けましたのでお邪魔しました。

○佐藤卓立幹事

各セミナー出席の皆様におかれましてはお疲れ様でした。

○高橋智弘会員

本日はスピーチさせていただきます。

○行形裕司会員

あっという間の月末でバタバタしております。

西形健吉会員／佐藤宗弘会員／宍戸順一会員／大平謹一郎会員／松林克次会員／朝倉久仁男会員／佐久間政文会員／佐藤慶行会員／高梨哲男会員／久米允彦会員

◇野球部より

黒澤 信之 主将



二本松 RC との定期戦も近づいてきましたので練習日を増やしていきたいと思っておりますので、宜しくお願いいたします。詳細は追ってご案内いたします。

◇本日のプログラム

◆セミナー参加報告

○青少年奉仕委員会セミナー

青少年奉仕小委員会 宍戸 順一 委員長



●セミナー概要 (8/31 開催)

- ・泉田征慶ガバナーの挨拶からスタート
- ・各委員会 (インターアクト、RYLA、青少年交換、ローターアクト、学友) から活動報告

●ROTEX (ローテックス) 報告

- ・ROTEX とは、国際ロータリー青少年交換プログラムで留学経験を持つ帰国学生の組織
- ・派遣生や来日学生のサポートを目的とした活動を展開
- ・留学体験報告
- ※ホームステイや学生生活を通じて成長した様子が印象的

●個人的な感想

- ・高校2年生の息子にも体験させたいと考えたが、興味を示さず断念
- ・今後、話を聞ける機会があれば再度誘ってみたい

●グループディスカッション

(64 クラブ・10 班編成)

※矢吹 RC・南相馬 RC・三春 RC・いわき内郷 RC・本宮 RC と同席

●各クラブの取り組み

- ・いわき内郷 RC  
高校生主体のインターアクト例会を実施。現在は通常例会と同様の進行が可能に
- ・三春 RC  
青少年奉仕活動としてフットサルやソフトボールを実施 (田村高校が対象)
- ・本宮 RC  
本宮高校でインターアクト活動を行っていたが、コロナ禍で中止

●総括

- ・他クラブの活動を知る貴重な機会となった
- ・今後もこのようなセミナーに積極的に参加したい

○公共イメージ委員会セミナー

公共イメージ委員会 朝倉 久仁男 委員長



「ロータリーの魅力、伝えていきますか」

2025年（令和7年）9月6日（土）、郡山市磐梯熱海町の「郡山ユラックス熱海」で開催。全60クラブのうち約40クラブから約60人。泉田ガバナー、パストガバナーは地区ラーニングファシリテータの佐藤正道氏を含む3人、早川敬介直前ガバナー、善方邦彦公共イメージIT委員会委員長などが参加した。セミナーは2部制。

●第一部・基調講演

第一地域 ARPIC の石黒秀司第2530地区パストガバナーと、同じく第一地域 ARPIC の五十幡和彦第2570地区直前ガバナーが基調講演。

【石黒秀司第2530地区パストガバナー】

「公共イメージ向上（認知向上）から増強の足掛かりへ～陽徳・陰徳の両輪を大きく回そう」をテーマに①ロータリーブランドに息吹を与えるには②公共イメージ向上アンケート③ロータリーの明るい明日のためーを副題に講演。

陽徳・陰徳とは「仏教用語」で、陽徳とは、人々の目に触れて、感謝されるような「徳（いいこと・行い）」。陰徳は、人知れず誰にも褒められないが、コツコツとやり続ける立派な「徳（行い）」。

アンケート結果について

- ① ロゴを見たことがあるか  
19 - 20 年度調査では 16%、23 - 24 年度調査では 21% で約 2 割しか知らない
- ② ロータリーを見たり聞いたりしたことはあるか  
19 - 20 年度 55%、23 - 24 年度 47.7% と減少、高齢者が新聞を見て知る
- ③ ロータリーの活動について  
まったく知らない 32.8%、ポリオ撲滅 1.6%、青年育成 4.1%（調査年度不明）
- ④ ロータリーを何で知ったか  
19 - 20 年度調査知人・友人から 22%、新聞から 21%。23 - 24 年度新聞 22%、知人・友人 18.7%。

県内ロータリーの活動は年間でおおよそ 300 回マスコミに取り上げられている。

・まとめ

ロータリーの活動を福島民報、福島民友新聞に掲載した、また、ホームページにアップしたからで、自己満足で終わっていないか。活動の先にある市民の笑顔と、自分たちの矜持（プライド）が正しく伝えられているか。例会に参加する会員たちは、自己研さんの意識を持ち、多くの人々と切磋琢磨して自己成長を果たす機会と捉える中核的価値観を備えた人たち。残念ながらロータリーを理解している人は会員の中にも多くない。改めて、自分たちが感じた魅力を「自分の言葉」で、積極的に会員、友人、知人、家族に熱い言葉で伝えることが必要。

【五十幡和彦第2570地区直前ガバナー】

「公共イメージとクラブ活性化」をテーマに講演。五十幡氏は、埼玉県の行田さくらロータリークラブ所属。熊谷市で自動車教習所を経営し、全国規模の「未来の教習所を考える会」の会長として年1回、浪江町の教習所を訪れている。

同クラブの取り組みとして、マスコミに取材してもらうため、コミュニケーションを図る機会として、クラブ年間スケジュールが決まると地元記者クラブと懇談会（6月）を定期開催している。

・まとめ

マスコミは情報を探していない。プレスリリースを見てから取材を考える（受動的）。

取り上げられやすいプレスリリースは、見出し、タイミング（社会性、公共性、初物、タイムリー性）が重要。

公共イメージの向上はなぜ必要なのか。目的は会員増強。会員が増えれば大きなプロジェクトができる。

ロータリーに入ってよかったこと「ロータリーモーメント」を発表してもらう。ロータリーで出会った感動を自分の言葉で語ってもらうことで、対外・対内的にロータリーへの理解が進むのではないかな。

・追加

「ポリオ根絶と公共イメージ」。目標と年間ストーリーを設定する。地区ポリオ DAY の設定や各 RC のポリオ根絶活動を紹介する。

●第2部・パネルディスカッション

パネラーに福島民報社郡山本社報道部長の湯田輝彦氏、福島テレビ郡山報道部長の岡田健太郎氏を招き、五十幡氏、泉田氏、佐藤正道地区ラーニングファシリテータ、山田哲史会津若松城南 RC 広報副委員長、小澤准一いわき平中央 RC 公共イメージ委員長の7人をパネリスト、善方邦彦公共イメージIT

委員長をコーディネーターに「クラブ活性化につながる広報活動・PRを楽しもう」をテーマにパネルディスカッション。

泉田ガバナーは「公共イメージの向上に重点を置いて対外的（市民）、対内的（会員）向けの活動に力を注ぎたい。ロータリアンとしての自覚を持ってもらうことで退会防止につなげたい」。

湯田氏や岡田氏は「誰に対して、何のために情報を発信しているのか」「ロータリーよりライオンズの名前が売れているのはなぜ」。「会員は、会社の社長などお金持ちで特別の存在などと感じている市民が多いのではないかと語り、新聞・テレビなどマスコミに加え、HPも活用して、まず、ロータリークラブの存在を知ってもらうこと、そして活動意義、目的を正しく理解してもらうことが必要などの意見が出された。

五十幡氏は「自分のクラブの活動を自分の言葉で語れるか」と発信力の重要性。山田氏は「活動内容をHPやSNSで発信。12月には児童園へクリスマスプレゼントを行い、マスコミに取り上げられている」。小澤氏は「HPやフェイスブック、ユーチューブなどを利用して女性や新会員のインタビューなどを紹介している」など各クラブの取り組みを紹介した。

#### 【まとめ】

様々なメディアを使って、繰り返し発信する。自分たちの言葉を使い、まず、身近な人にロータリーの魅力を伝える。情報発信活動を継続していくことが大切とした。

#### ○社会国際奉仕・ロータリー財団委員会セミナー 社会奉仕小委員会 高橋 智弘 委員長



#### ●社会・国際奉仕委員会セミナー参加報告

9月13日に郡山ユラックス熱海にて社会・国際奉仕委員会セミナーに参加してまいりました。セミナーでは、2014年にフィリピン・セブ島に移住し、「未来のリーダーを育成するNPO法人DAREDEMO HERO」を立ち上げ現地で活動している理事長の矢吹町出身の内山順子氏を講師に迎えて、「セブの貧困

層から未来のリーダーを育てる」をテーマに講演が行われました。内山さんはこの法人を立ち上げる前は、精神保健福祉士・公務員ののち、ワーキングホリデー・世界一周と、本当の居場所はどこにあるのか？自分は必要な存在なのか？と葛藤を続けたのち、2013年の台風ヨランダによるフィリピンの被害を目の当たりにした時に瓦礫の中で見た絶望の中での現地の人笑顔を見たときに、希望を与えるだけでなく、夢を実現するための支援をしたいと思ったそうです。コロナやスーパー台風など紆余曲折がある中で、子供たちと交わした約束は、「志を忘れずに努力を続ければ、必ずDAREDEMO HEROが夢の実現まで支援する！」です。かわいそうだからではなく、がんばる子供たちを応援し、貧困とは何か・幸せとは何か、真実を見る目・判断する心を育て、未来のリーダーを誕生させ、叶えられない夢はない！と頑張っているそうです。貧困の連鎖から幸せと希望の連鎖へ変えるため、奨学生支援やラーニングセンターの開設などいろいろな試みをしているそうです。場所ややり方は違いますが、社会奉仕・国際奉仕という点で通じるものがあると感じて参加してまいりました。以上です。

#### ●ロータリー財団委員会セミナー参加報告

ロータリー財団委員会セミナーでは、2025-26年度地区財団目標として

1. 年次基金 \$ 150/一人  
「寄付0クラブ」をなくそう！
2. ポリオプラス基金 \$ 30/一人  
「寄付0クラブ」をなくそう！
3. ベネファクター \$ 1,000 恒久基金へ寄付  
/クラブ1名以上
4. ポールハリス・ソサエティ加入推進 100名
5. ポリオプラス・ソサエティ加入推進 100名
6. 「ロータリーカードの加入推進」

地区補助金受領の三つの条件として

1. 全ての財団補助金はロータリー財団の使命に関連していること
2. ロータリー財団セミナー参加とMOU提出
3. 会員が積極的に参加すること

地区補助金は2年度またがる仕組みなので、2025-26年度は計画年度で2026-27年度は実行年度になり、終了後2か月以内に報告書提出して終了となります。今年度のスケジュールとしては、まずはセミナー参加、次が2026年1月31日までにMOU提出、3月31日までに地区補助金申請書提出となりますので、関係のある会員の方は、よろしく願いいたします。以上です。

## ○職業奉仕委員会セミナー

高橋 智弘 会員

9月26日に南東北総合卸センターにおいて職業奉仕委員会セミナーに参加してまいりました。1部は、第2790地区勝浦RC所属の漆原摂子パストガバナーが、「職業奉仕の理念と実践」と題して基調講演がありました。職業奉仕理念の原点から決議23-34を経て現在に至るまでの経緯が説明されました。職業奉仕の実践としては、職場や生活において高い倫理基準を守る、世界でよいことをする、自らの職業を地域社会の改善に活かすの三つで、2019年からは四つの行動計画が追加されました。より大きなインパクトをもたらす、参加者の基盤を広げる、参加者の積極的なかわりを促す、適応力を高めるの四つです。他に個人レベルとクラブレベルの例題を紹介しました。まとめとして自分の職業や活動においても、またロータリーにおける奉仕活動においても、常に倫理観を持っての行動を目指すということでした。2部では、RLI方式によるグループディスカッションが行われ、「職業奉仕の実践はどうあるべきか」をテーマに、各クラブがやってきたことやこれからやるべきことなどを話し合い、自分のクラブにどう生かして行くかまとめました。以上です。

◇閉会点鐘

宮崎 秀剛 会長

◇会報カメラ担当

朝倉 久二男 公共イメージ委員会委員長